

議会報告会 報告書

令和7年12月2日

大竹市議会

議長 北地 範久 様

班 名 B班

班 長 西村 一啓

議会報告会の実施状況について、次のとおり報告します。

1 開催日時

令和7年11月11日（火） 19時00分～20時30分

2 開催場所

立戸集会所

3 参加人数

14人

4 担当班議員名

班 長 西村 一啓

副班長 末広 天佑

班 員 細川 雅子、小田上尚典、豊川 和也

5 報告会次第

(1) 開会あいさつ

(2) 議会からの報告

総務文教委員会

「家庭用防犯カメラ等の購入費・設置費補助金について」

「西国街道の整備について」

生活環境委員会

「手話言語条例の制定について」、「補聴器購入助成について」

議会運営員会

「岩国基地における空母艦載機の着陸訓練に関する意見書の提出
について」

広報広聴特別委員会

「議会情報の発信（SNS、議会だより）について」

(3) 意見交換

(4) 閉会あいさつ

6 議会からの報告についての主な質疑応答

(回答した質疑)

特になし。

(回答しなかった質疑)

特になし。

(意見・要望等)

特になし。

7 意見交換

(回答した質問)

Q：油見から立戸郵便局前の交差点への通行車両への対策について伺います。

A：当該道路は、以前から危険性が指摘されている箇所です。通行車両のスピード超過や、近道として利用されることで交通量が増加しています。警察による取り締まりや、道路上のグリーンベルト設置などの対策が行われましたが、警察の日常的な対応は困難で、グリーンベルトも消えている状況となっています。交通を制限することは難しいですが、自治会として意見書や要望書を提出することで、改善に向けた検討が進みやすくなります。

Q：地区内の坂道、特に水路の蓋の整備や道路事情について伺います。

A：水路（側溝）に蓋をしたり、道路との段差を解消したりする工事は、技術的にも費用面でも容易ではありません。特に、家と道路の段差に関わる工事には、近隣住民や自治会内での合意形成が必要です。自治会活動を通じて、地域住民の総意としての要望をまとめ、継続的に提出することが重要です。

Q：高台団地に住む住民の公共交通の利便性について伺います。

A：市では各地域で乗り合いタクシー事業が行われています。これは、自宅近くから乗降可能で、運賃も比較的安価（例：片道 250 円）に設定されています。この事業は地域で利用したい住民の意見をまとめて、自治振興課に相談することでサービスの導入がされています。

Q：大竹市の人口減少対策及び空き家対策について伺います。

A：市は全国的な問題である人口減少に対し、市長の方針のもと、子育て支援（給食費の無料化、おむつの宅配など）に注力しています。また、空き家対策として「空き家バンク」制度がありますが、登録件数が少ない（現在 1 件）という課題があります。危険な「特定空き家」への対応は行っていますが、活用可能な空き家を増やすために、市民からの意見を聞きながら制度の改善を検討していくことになっています。

(回答しなかった質問)

特になし。

(意見・要望等)

- ・今回の報告会の内容（生活道路の安全確保）に関して、意見書を作成したいので、相談に乗ってほしい。

8 気付きや反省点

- ・資料の配布や投影がなかったため、報告事項の内容が市民に十分に伝わりませんでした。今後は、プロジェクターなどの視覚的な資料を用意したらよいと感じました。